

中野姉妹は

メ〜ン





あれー確かにこの辺に
置いといたんだけどな

一花…これは
置いたじゃなくて
無くしたって
言うんですよ

ホテルのチケットなんて
何で無くすかな

立体型
不織布マスク
50枚入



もうすぐ上杉君との
待ち合わせの時間ですよ

チケットないと
泊まれないのかな



最悪身分証でも出せば
大丈夫だと思いますが



あっ
い…一花
これ!

見つけましたか
四葉!!



こんな過激な
下着を…
前より生地が
少なくなってるない?!

これ付けた時のフータロー君
いつもより遥かに凄かったんだよ
四葉にも
貸してあげようか

わ…私じゃ
こんなの着こなせないよ

ズッ



駄目だよ四葉
こんな弱気じゃ

私たちが皆同じ顔なんだから
下着の一つでもこだわらないと
フータロー君に相手して
もらえなくなっちゃうよ

あはは……
そうだね…同じ顔

私に合う下着
選んでもらおうかな

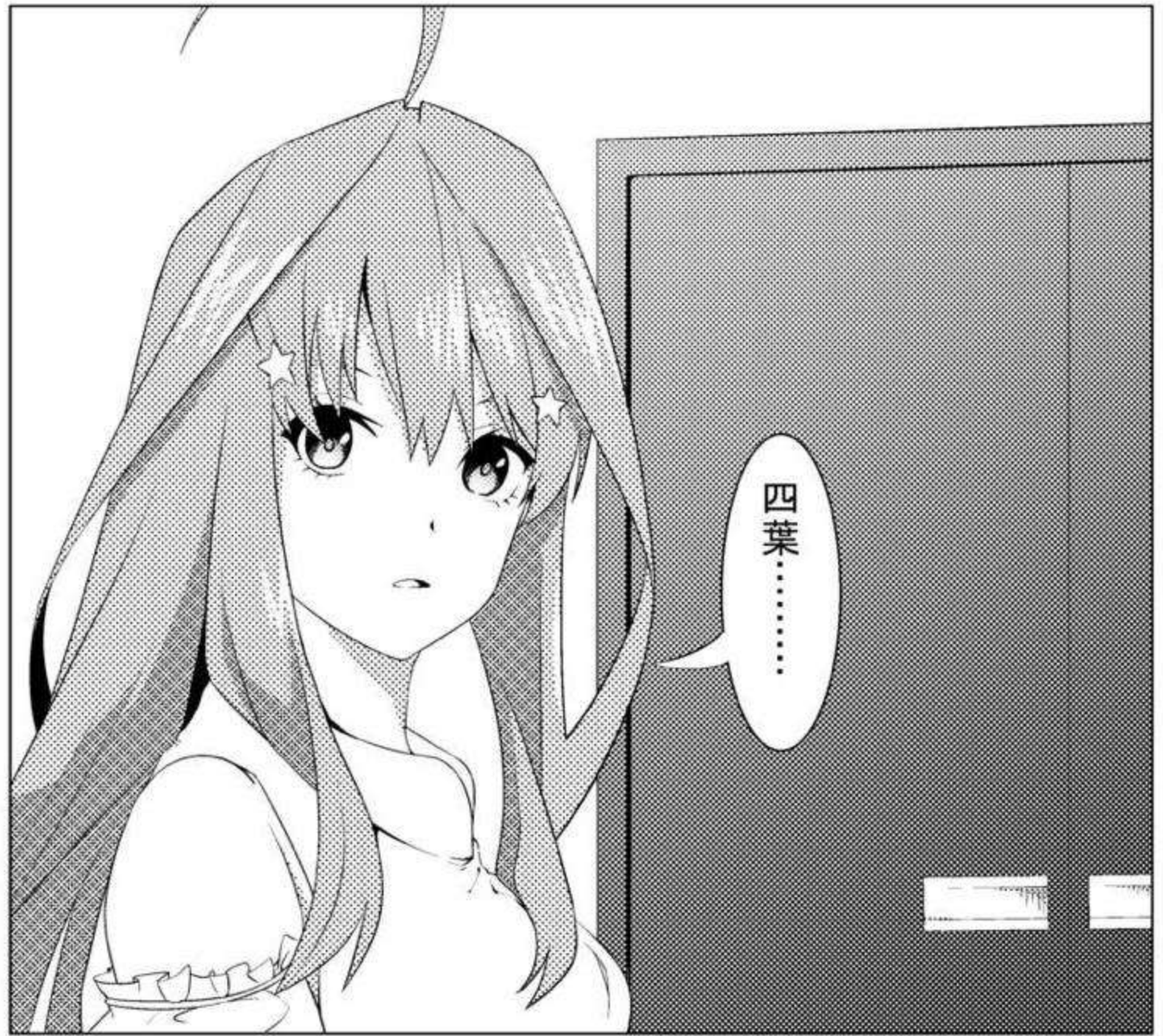
上杉さんが
喜ぶやつで



一花がホテルのチケット
どこかに無くしたみたいで
探してるんです

あんたらいつまで
そこにいるのよ
もう出発の
時間よ

ガチャ



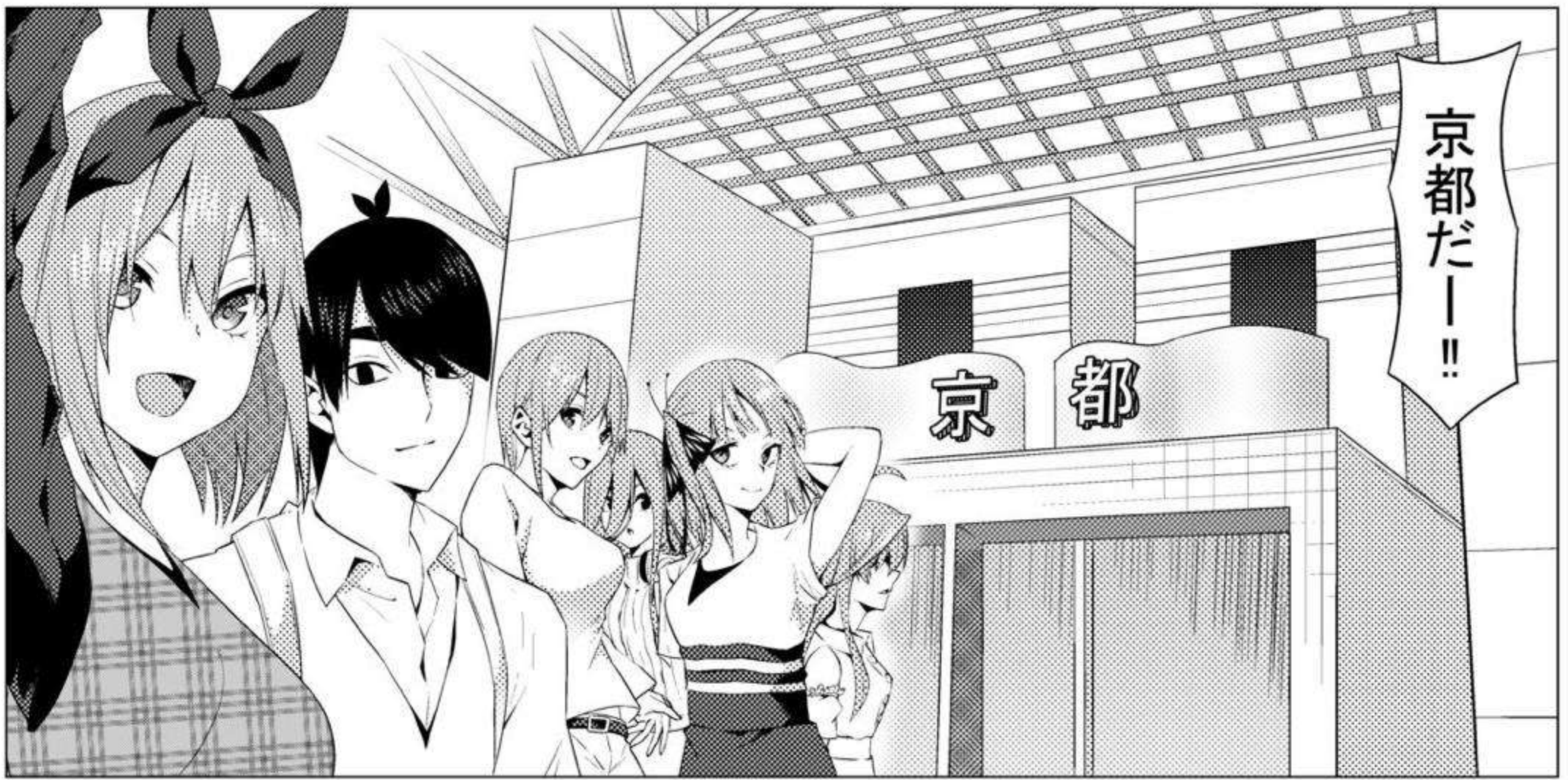
四葉……



チケットなら自分じゃ
無くすだろうからって
一花が預けてきたじゃない

フータローはもう
着いたって





京都だー!!



しょうがないでしょ
行き先は多数決で
決めるって話だったし

っていうか何で
また京都なのよ
修学旅行で行ってから
半年も経ってないでしょ



私あんまり
いい思い出が
ないんだけどなー

ほら、三玖に
変装したりとか

四葉!?

学業成就守



ハア...ハア...

上杉さん!三玖!
ファイトです



うう...抹茶苦い
フー君のなら全然
飲めるのに

二乃...情緒が
無さすぎる



こっちがホテルか

フータロー君も
スマホにしたら?

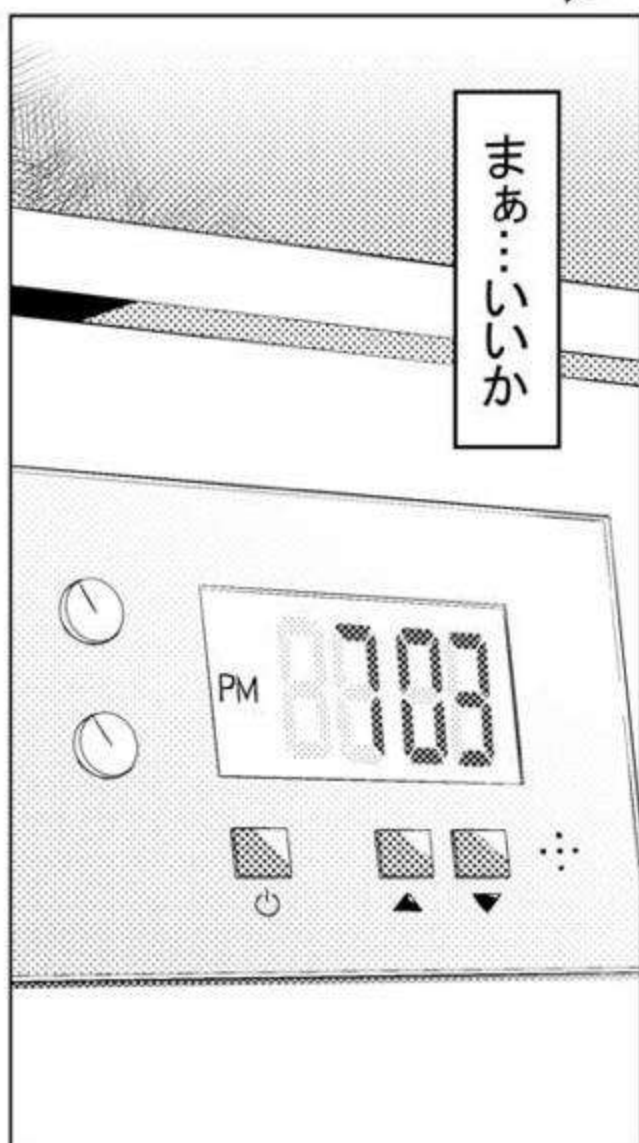


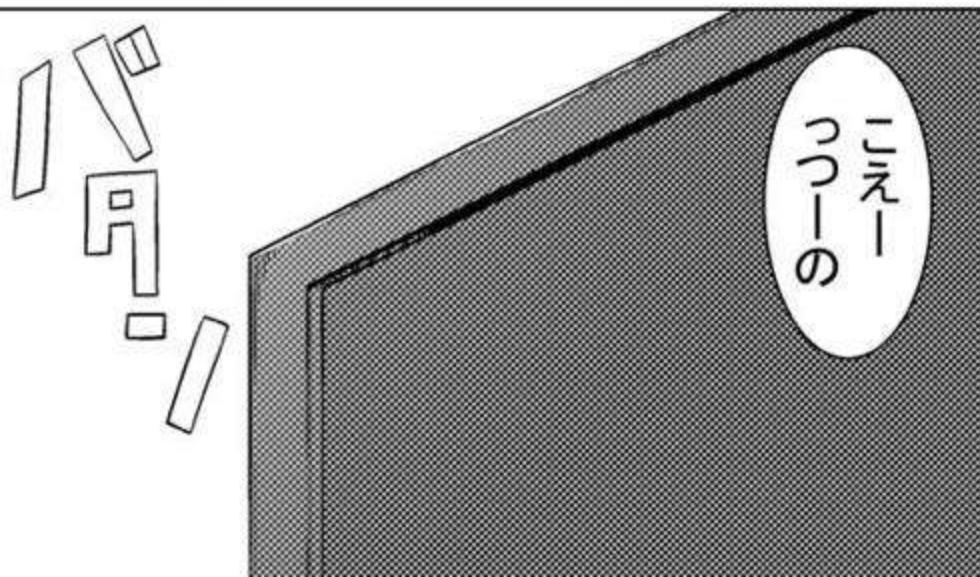
旅行の楽しみ
豪華ホテルの
スイートルーム
(一花払い)

ベットルームは
六人そろっても
余裕がある
超キングサイズベット

さらにはこの旅行の
日程に合わせた
五人全員奇跡の安全日









どーですか
上杉さん

ちやんと気持ち良くなってますか

♡
♡
♡



えへへ♡

ナゲ
ナゲ
ナゲ



ああ...すごく
良いぞ四葉
前より上達したな

じゅぽぽぽ





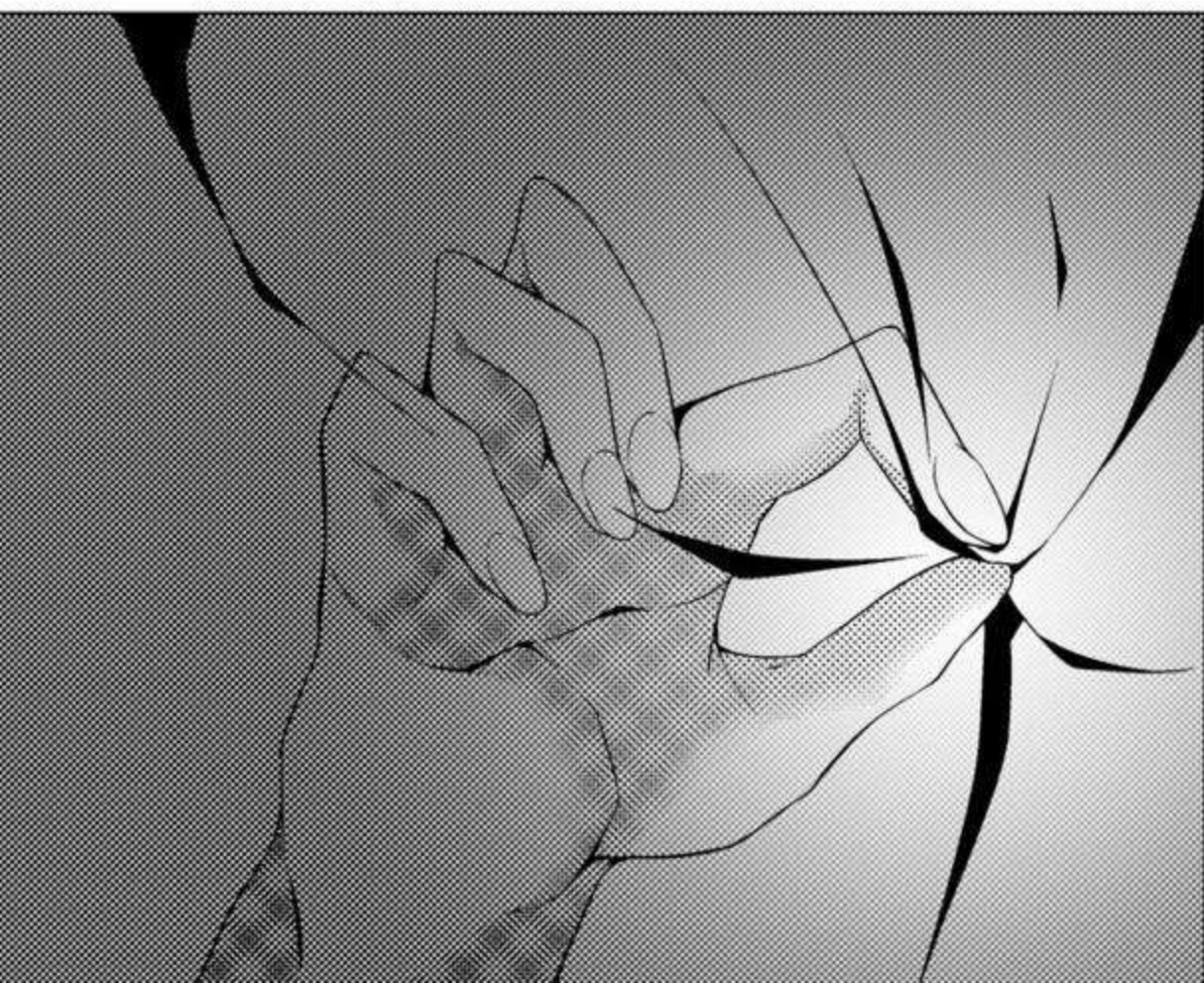
















お仕置きなんですよ
フー君の気の向くままに
犯しなさいよ

ググググ



ジュルルル

私たちがたくさん精液
作ってあげるから

プリプリくさーい
大量のザーメン
二乃の喉奥に
流し込んであげて

二回も出したのに
上杉さんのキンタマ
パンパンですよ



フフ…二乃のお口
蹂躞するフータロー君
ワイルドでいいね

私も舐めたく
なつてきちゃった

わ…私も

ぐほ

ぽ

ぐほ



しっしょんぐんぐん

あはは



二乃の口をオナホ
扱いして周りから
称賛を浴びる

それどころかさらに
それに群がってきて
興奮を誘ってくる



改めてこの空間：
この関係が異様な
ものだと思いき知らされる
いや…この場合逆に
おかしいのは自分に
なるのか…なら



ん！ふむんっ

二乃!!すまんっ



女の子の髪を
引っ張るなんて
やるねフータロー君

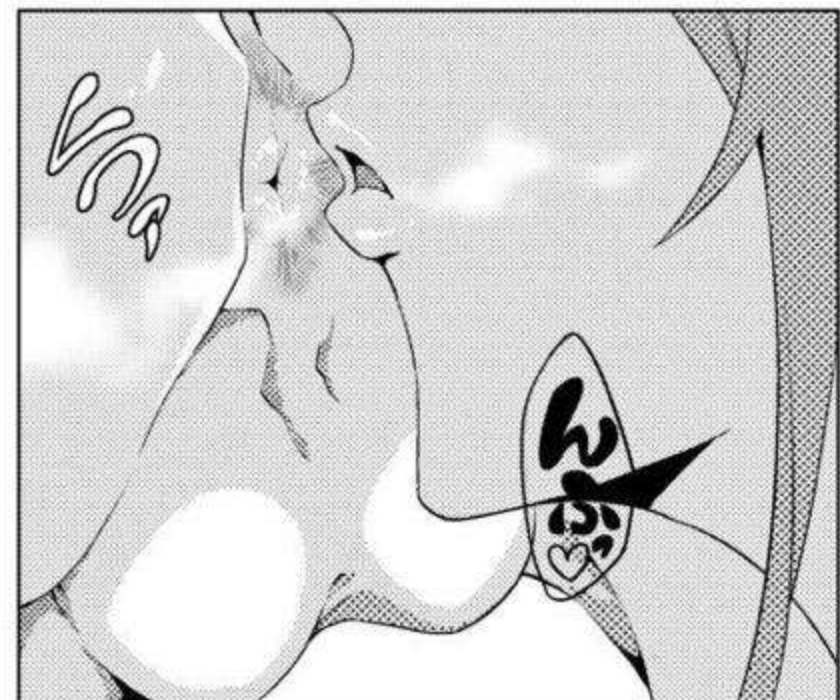
アホ

ズグッ



フータロー二乃のじと
獣みたいに犯して

私がフータローの後ろ
気持ち良くしてあげる



ズグッ



三玖……！
いくらなんでも
そこは

ちよつと汗ばんでて
匂いもするけど
フータローのなら
嫌じゃないよ

私がフータローの
お尻おさえてるから
存分に二乃の頭
すりつけて

あ

ズグッ

ぐ

ぐ



二乃のツインテテをハンドル
にしてイラマさせ…

一花と四葉に左右の
タマを吸わせて…

三玖にケツ穴を
舐めさせる



目を開けば同級生の女子
四人を股ぐらに押さえつける
圧倒的な征服感が

目を閉じれば腰が
とろけてしまうかのような
暴力的な快楽が襲って



脳みその判断力が…
善悪が鈍ってくる

二乃！出すぞ
飲み込め！！



足りなかつたらもっと
私の口、精液便所に
していいから

私もエッチに
参加させて





ああ…現実とは
思えないすさまじい
光景…だ

お前ら揃ってでの
奉仕なんて世間に
バレたら殺される
だろうな

五つ子ならはだな…

ふんふん

ハッ

ぽ



ふーん
誰を仲間外れには
しないですって

あ……

アッ



心配しなくても
二乃…お前一人を
仲間外れには
しねーよ

フー君

子乃



はいーフータロー君
五つ子姉妹井の
眺めはどうかな？

全員安全日で
薬の用意も
ありますから

上杉君の生おちんちん
いただく準備は
皆出来てます

順番なんて
気にしなくて
いいから

一番突っ込みたい穴に
底なしの性欲
ぶちまけなさい！！



まあ、まずは…随分と
大胆な下着をつけたもんだな
………五月

隠すべきところが
丸見えじゃないか
全裸の姉たちより
エッチじゃないか

うっ…上杉君が…うっこの
好きだと聞きまして
一花に私に合う下着を
選んでもらったんです



マンコの濡れ具合も
バレバシだ

よっぽど挿れて
欲しかったみたいだな



なんじゅっ♡



ほらフータロー
他の四人もいつでも
オマンコ濡らして
準備できてるよ

乗り換えたくなったら
いつでもいいよ

チヌプ

あっ三玖!!
私さっきはほとんど
前戯も無かったのに
ひどいですよ



最初に言った通り
今日はフータローの
欲望優先だからね

誰から挿れるかも
気分次第だよ

あっ♥上杉君
私のやわらかーい
オマンコが一番
気持ちいいですよ

あっ...

ぐぐぐ

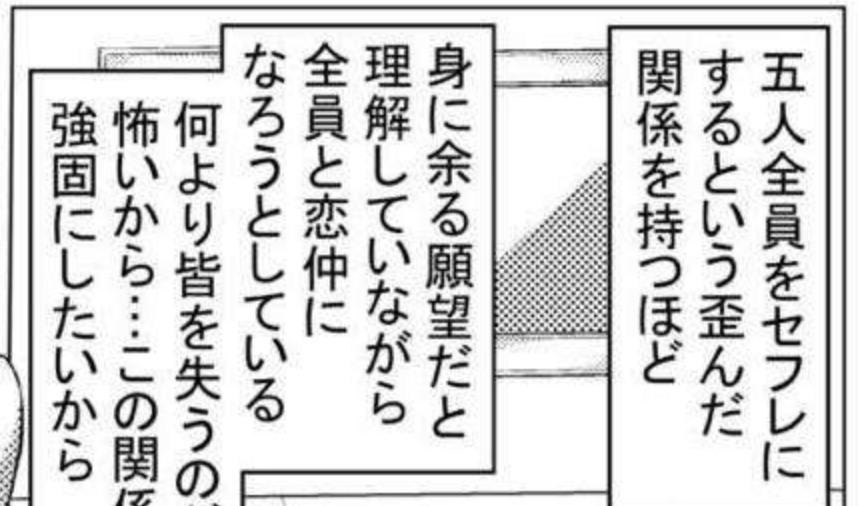
ピョッ

そうか...
じゃあ

ピョッ



今更言わずもがなだが
この五人を愛している



五人全員をセフレに
するとう歪んだ
関係を持つほど

身に余る願望だと
理解していながら
全員と恋仲に
なろうとしている

何より皆を失うのが
怖いから…この関係を
強固にしたいから



そんな臆病者
の結果が
今のこれだ



先程から感じる
この違和感…

もしこれが自分の
勘違いだったら

俺はこいつらに
嫌われてしまう
かもしれない

それがおそろしくて
たまらなくて言い出せなく
なってしまうている

いつこのまま
気付かないフリを
したほうが



お前：
四葉だろ

………何で
気付いたんですか

五月は俺のことを
風太郎君とは
呼ばないからな
攻められすぎて
口調を真似るのを
忘れたか

でもそれなら
一花だと思っのが
普通なんじゃ……

フータロー君♡

エッチの時、無我夢中
になると俺の名前を
呼ぶことがあったよな

!?

やっぱりな

自分でも気付いて
なかったか……

今回は中々だったが
相変わらず変装は
苦手みたいだな

うっ……

それにあのアダルトな下着は
一花に選んでももらった
って言うってたな

女優の一花のセンスは
疑いようのないが…

あれは四葉にこそ
似合うと思ったからな

ってことはうちの
四葉に変装したのが
五月ってことだな

ごめんなさい
四葉に協力するように
頼まれました



それに五月：
お前なら一花に
下着を選んで
もらうんじゃないかと
自分で決めて
買って来た
だろうからな

この水着は
どうですか？

何より四葉が
一番に課題が
終わるなんて
ありえない

そこはもう少し
信用してくれても
いいじゃないですか

下着！
買いにきたんです！

それに挿入した時の
感覚が皆少しづつ
違うからな

お前らは変装したうえで
お互いのことを
一番知っているからこそ
ポロを出さずに
やってこれたからな

流石に自分らの
膣の中まで共有は
出来ていないだろ

台無しじゃ
ないですか



もうお前たちが
変装で騙そうだななんて

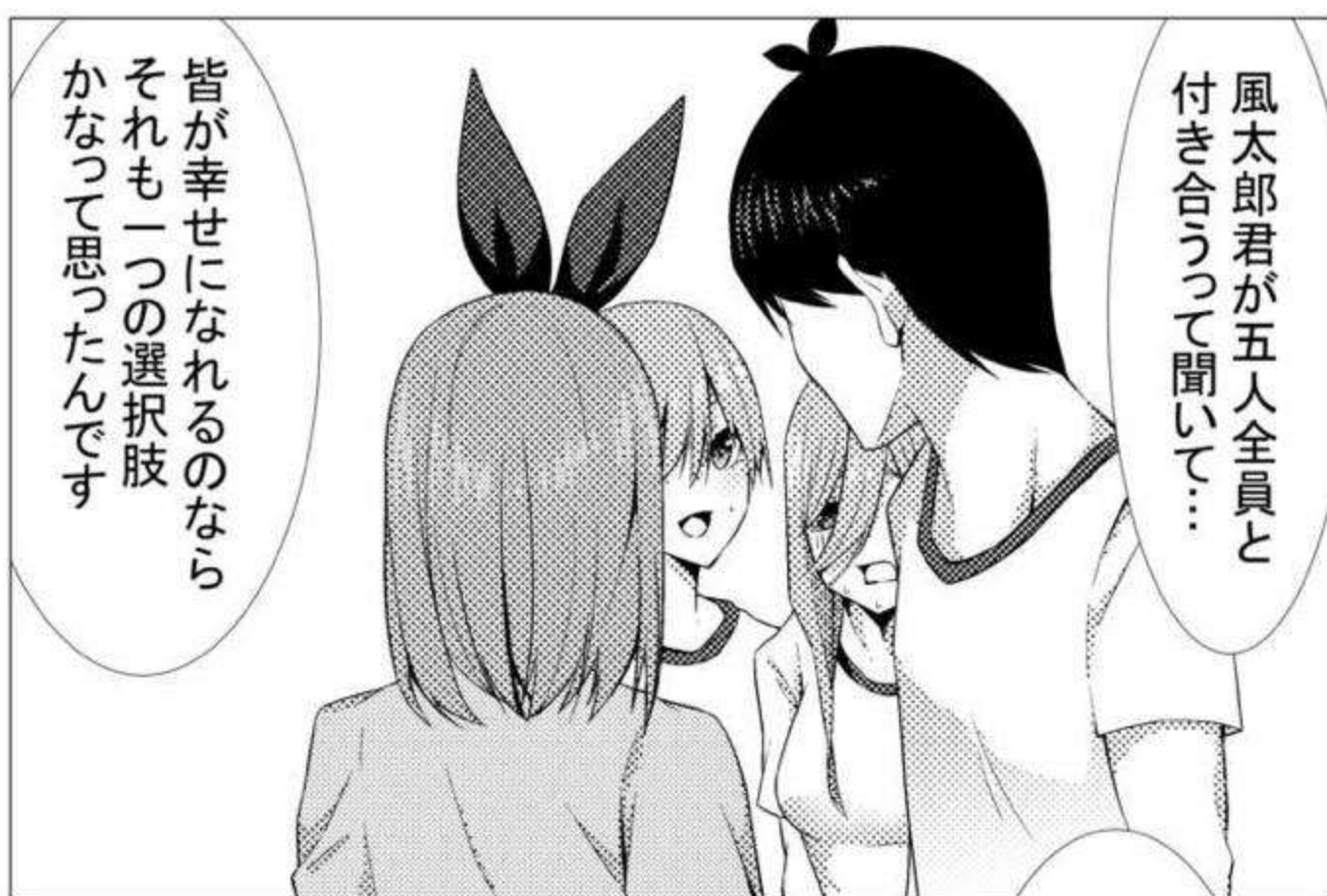




上杉さん!!
風太郎君:
風太郎君!

予告無しの変装だったから
気付かないかもって
思っていましたけど

やっぱり風太郎君は
騙せません



風太郎君が五人全員と
付き合おうって聞いて…

皆が幸せになれるのなら
それも一つの選択肢
かなって思ったんです



変装で騙したの
怒ってます?

いや…別に
怒ってはいねえよ

でも何でこの
タイミングで
変装なんだ



でもそうになったら
風太郎君の隣には
いつも皆がいて

『中野四葉』自身を
見てくれることなんて
なくなってる

私なんてすぐに
相手にされなくなる
んじゃないかって…

不安だったんです

でも上杉さんは
しっかり私を
見てくれました

どっ

でも今だけは
私だけ相手して
もらいます

ぐわん

とろろ...

ぐわん

どっ



ハア...
上杉さんが
悪いんですよ

そんなに
格好いいこと
言つて...



おとなしく
私に喰べられて
ください



.....四葉?

なんか捕食者の目をしてるんだけど...



バチッ



一気に
いきますよ

3, 2, 1...





なら私は…

フータロー君の左手で
私のグチュグチュマンコ
食べごろにして欲しいなあ

♡
♡
♡



はあああ♡
んひい♡あ♡♡



この変態
長女め!

ああん♡奥まで
かき回されてる

ちゅ





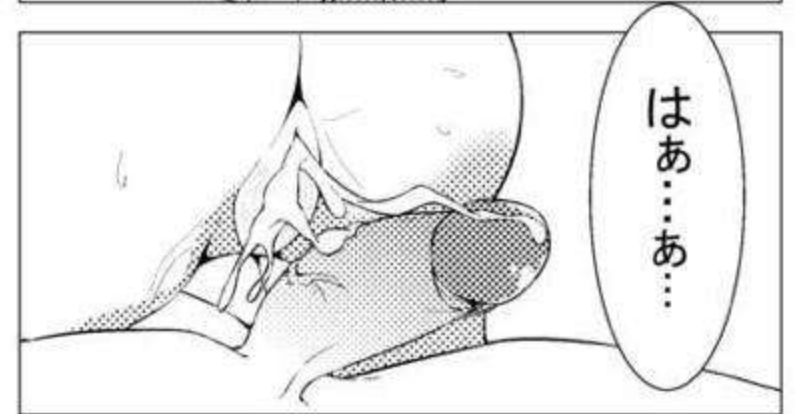


四葉：お前が
力一杯腰振ってきたら
いくら体力があっても
持たないだろうが

えへへ…つい
夢中になっちゃい
ました

とにかく
少し休憩
させてく…

何言ってるの
フータロー君



ちよっと待って！
じゅ…5分だけ

あーん！！



私たちまだ全然
満足してないよ

全員に精液
出しつくすまで
休憩なんて
あるわけない
じゃない

はっ…え…

フータロー
ファイト♡



でも私が四葉に
変装するのはいいけど
四葉の変装はフータロー君に
バシちゃうんじゃないの？

うん…だから
五月にフオロー
してもらいたくて

私が四葉に変装する
役をします



四葉の気持ちも
分かります

私も上杉君が
姉妹五人と付き合うことを
認めたわけではありません



つて「ト」は!!
それはちよつと
厳しいんじゃない



大丈夫:
最近私の変装も
かなり上達した
はずです



この6Pで…

上杉君…
あなたの覚悟
見させていただけます



一花、二乃、三玖は
もとより…

四葉も今回の件で
完全に上杉君の虜に
なってしまったでしょう

ですが私はそう
甘くありません

* この作品について

「ごと嫁」愛と絵の練習で始めたこの作品ですが、次の五月主軸の話で最後の予定です。話数ごとに増えていくページ数から最終回は今までと別の形でのUPもありかなと考えています。

FUNBOXとか
冊子とか？

とは言えそれは興味本位のもので今まで見てきた人たちの為にもストーリーの完結までは今まで通りpixiv上で見えるようにし、内容を濃くした完全版にそういった試みをしてみたいと思います。

投稿頻度からわかる通りまだ先の話でしょうが原作も映画が制作中ですし自分のやる気も十二分にあります。失踪とかはないと思うので気楽に待っていただけると嬉しいです。